

平成30年度
事業会計決算書

公益財団法人浜松市花みどり振興財団

目 次

A. 平成30年度 財団事業報告

1. 概況	1
2. 事業報告	3
3. イベント報告	7
4. 議決事項	9
5. 役員に関する事項	10
6. 職員に関する事項	11

B. 平成30年度 財団事業会計決算

1. 貸借対照表	12
2. 正味財産増減計算書	14
3. 正味財産増減計算書内訳表	16
4. 財務諸表に対する注記	18
5. 附属明細書	22
6. 財産目録	24

A 平成 30 年度 事業報告

1 概 況

(1) 花き類の栽培や展示等の事業を通して、花みどりの普及と情操教育の場の提供に努めるとともに、園芸文化の創造と浜名湖地域社会の活性化に資することを目的に平成 25 年 4 月、公益財団法人として設立された当財団は、浜松・浜名湖周辺の貴重な観光資源としての集客施設（フラワーパーク及び動物園）の運営に加え、地域に貢献しうる公益目的事業（園芸文化普及・情操教育推進事業）推進と円滑な法人運営を行いました。

特に今年度は「はままつフラワーパーク開園 50 周年」となる 2020 年度を 2 年後に迎えるにあたり、2020 年 3 月からの円滑な記念事業の実施を図るため、市と連携し、集客力強化と園の活性化に資する有効な方策の実施に向けた動きを加速させました。

一方で、2019 年 4～6 月の開催が決定している大規模観光事業「DESTINATION キャンペーン」に併せた観光素材を充実すべく、「大物盆栽展」を 2019 年度の主要事業として企画するなど、市民に一層愛され、親しまれる園となるよう、集客資源の未来への円滑な継承に取り組んでまいりました。

「世界一美しい桜とチューリップの庭園」が最盛期となる春の一大イベント「浜名湖花フェスタ 2018」では今年度も周辺観光施設と連携し、民間主導で開催（平成 30 年 3 月 21 日から 6 月 10 日までの 82 日間）し、県内はじめ東海地域からのお客様を中心に来場者は期間中、256,154 人を数えました。

昨年同様、花フェスタの入場者目標は 30 万人を掲げており、この目標人数は達成できなかったものの、「花の浜名湖」としての地域の賑わい創出と、浜名湖周辺の観光活性化に寄与するなど、春の一大イベントとして着実に地域に根付いています。

また、「花とみどりのまち・浜松」推進のため、浜松磐田信用金庫、天竜浜名湖鉄道と連携し、天浜線沿線や駅舎周辺等に花を植え、育てていく取組「天浜線 人と時代をつなぐ 花のリレープロジェクト」をスタートいたしました。市民生活に密着した新たな花みどり文化を提案し、地域の魅力を一層高めることで、花とみどりあふれるまちづくりの市民意識と緑化思想の高揚にも寄与することができました。

一方、フラワーパークの年間入園者数（有料無料計）は 432,455 人で、前年度と比較すると△76,926 人、△15.1%の減少となりました。また、当初計画は 50 万人としており、達成率は 86.5%となりました。この減少は当園が最も集客力を有する「桜とチューリップ」の見頃が年度前半、後半どちらにも収まらず、「満開時季のない」極めて異例のシーズンとなったことが大きな要因です。

経済情勢の先行きの不透明感やレジャーの多様化等の環境下で入場者増を図るのは容易ではありませんが、財団スタッフの力を結集し、何度でも足を運びたいくなるような園づくりに努めてまいります。

今後も法人としての理念や実績、長年培ってきた知識・園芸経験のアピールに努めながら、市民からの信頼と期待に応える事業展開や着実に確固たる財政基盤の確立にも取り組み、財団一丸となって「感動」と「安らぎ」を提供する快適な園づくりに邁進してまいります。

事業量（有料無料入園者数）	（単位：人）
区 分	フラワーパーク
計 画 目 標	500,000
有料入園者数	268,443
無料入園者数	164,012
入園者 合 計	432,455

合計の入園者数は計画目標とした事業量を下回りました。

これは、ソメイヨシノの満開時期が当年度内にまったく当てはまらず、「世界一美しい桜とチューリップの庭園」を目的とした来場者が減少したことが大きな要因です。

平成 31 年度は館山寺総合公園第 2 期指定管理事業の 4 年目であり、新たな取り組みを行う中で、引き続き風格ある園づくりに努めるとともに、花みどりの効果を活用しての「公園福祉事業」や、「花育」活動の一環としての出張園芸講座及び学生ボランティアの受け入れなどにより、健全な青少年育成を目指す「心根（こころね）」教育振興事業を推進することで、更に顧客満足度を高めてまいります。

(2) 市民や館山寺温泉宿泊客の利便を考慮し、平成 30 年度も 1 月 1 日から開園いたしました。

(3) 職員数は、平成 29 年度の 26 人に対し、平成 30 年度は△1 人の 25 人の組織体制で運営いたしました（平成 31 年 3 月 31 日現在）。嘱託職員等を採用し、人的資源の有効活用を行ったほか、現有人員の業務分担の見直しや繁忙期の臨時雇用による対応も行い、来園者のサービス維持に努めました。

31 年度以降についてもスタッフの効果的配置により、入園者にとって快適に園内を楽しんでいただけるよう、質の高い管理運営に努めるとともに、園芸技術の次世代への適切な継承等も行ってまいります。

(4) フラワーパークの将来を見据え、新たな魅力づくりの一環として重要視する整備事業（藤棚、温室装飾の整備充実等）を施工し、園の魅力度アップに努めました。

※なお、以降に示す「平成 30 年度事業報告」には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しないこととします。

2 平成30年度公益財団法人浜松市花みどり振興財団 事業報告

平成30年度事業計画に基づき、次のとおり事業を実施したので報告いたします。

I 事業の概要

1 はまつフラワーパークの入園者実績

(1) 総入園者数 432,455 人

施設名	有料入園者数	無料入園者数	合計入園者数
フラワーパーク	268,443 人	164,012 人	432,455 人
() は前年度	(356,473 人)	(152,908 人)	(509,381 人)

(2) 入園料変動料金制による入園料弾力化やお買物券付入園券の導入、「浜名湖花フェスタ」を毎年継続開催することで、近隣観光施設との連携強化と誘客機能の向上に努めました。

(3) 公式ホームページ上で話題性の高い情報の発信や SNS を活用し、facebook や LINE@ (会員数 2,739 人) にてリアルタイムな情報提供を行いました。

(4) 「世界一美しい桜とチューリップの庭園」に相応しい魅力ある園づくりを推進しました。

2 事業の内容（公益目的事業）

(1) 花きの栽培技術の指導、花の優良種苗の生産及び配布業務

ア キクの新品種の導入、試作、展示

イ キクのオリジナル品種（グリーンウインド）の育成及び配布

ウ 浜松 PC ガーベラ部会との共催によるガーベラの普及業務

(2) 園芸文化の普及、情操教育の推進業務

ア 市民からの日常的な園芸相談の対応（電話相談等 540 件）

イ 「塚本こなみ園芸教室」ほか各種園芸教室の開催（計 2 回 265 人）

ウ 教育関係者や児童生徒等の職場体験の積極的受入（中高生等体験学習 13 校 37 人）

エ 小中学校の総合学習との連携事業として地元庄内学園への出張園芸講座及び園児・小学校低学年児童を対象とした「食虫植物教室(146 人)」等実施による「花育」の推進

オ ボランティア 活動の受入及び育成(園内ガイド延べ 888 人(花フェスタ時 511 人、通常時 377 人)、園芸作業延べ 1,080 人(花フェスタ時 315 人、通常時 765 人) }

カ 「車椅子押し隊」学生ボランティアの参加受入による健全な青少年育成を目指す「心根（こころね）」教育の推進（延べ 41 人）

キ 昆虫イベント等自然体験イベントの開催（カブト虫クワガタワールド等）による教育文化事業の普及と情操教育の推進

ク 市教委と連携し、園内福祉棟に設置された「適応指導教室くろーばー」活用による不登校生徒のための自立と再登校支援の実施

ケ 「健康増進パーク」として市民の健康づくりを实践する事業実施(トレッキングコースを活用したノルディックウォーク体験教室の開催等)

コ パーク管理課技術職員による新規体験教室の多数企画・開催(初心者向けバラ園芸、アジサイ剪定、花しょうぶ育て方、土づくり、多肉植物教室等)

(3) 花みどりを基軸とした地域経済・産業の活性化関連業務

- ア 障がい者や高齢者、社会参画が困難な人々への園芸作業を通じた公園福祉（園芸福祉）事業の実施（ひきこもりサポートセンター等からの実習生受入等）
- イ 地域振興・地域連携の取り組みとして、民間主導の実行委員会形式による「浜名湖花フェスタ」への参画と館山寺温泉観光協会等関係団体との協力連携
- ウ 周辺観光関連業者、地域観光施設との連携による誘客活動の推進（おもてなしクーポンでのスタッフラーの実施）
- エ 各種市民緑花ふれあい事業への参画による市民交流の推進（浜松花と緑の祭参画等）
- オ ニューツーリズム事業としての着地型観光商品造成への参画
（平成 31 年春の「デスティネーションキャンペーン」開催と併せ、当園ならではの特別企画造成による花のまちとしての地域ブランドづくりと誘客プロジェクトへの参画）
- カ 館山寺温泉観光協会と連携し、外国人受入等にも今年度初めて対応したガイド付き蛍ツアーの開催等「蛍の見られる温泉街」の実現（計 27 日間 1,049 人）
- キ 「The hula フェスティバル」開催による市民交流人口の拡大（期間来場者 4,601 人）
- ク 台湾等東アジア諸国を中心としたインバウンド事業での誘客促進の強化
- ケ 「浜松市緑化推進センター」指定管理事業における浜松公園緑地協会との一部事業共同運営による花みどり文化の効果的発信（理事長園芸講座の実施）
- コ 花と緑を育む活動に取り組む協力団体・大学等との異業種交流の推進（地元大学と連携した学生研究発表会開催や夏のオープンキャンパスへの参画等）
- サ 太陽光発電や自動運転技術に取り組む企業とのコラボイベント開催による近未来創造事業への積極的支援の実施

(4) 花き類の栽培展示業務

- ア メインエントランス広場及びクリスタルパレス周辺のコンテナ花壇の装飾
- イ 早咲きの桜園（館山寺桜、雛桜、雛八丈桜）の展示充実
- ウ 花梅園の修景及び早春ボタン展示の充実
- エ 早咲き菜の花 10,000 本、ラップスイセン 80,000 球及び早咲きチューリップ 2 万球の展示
- オ 正面ゲート、浜名湖ゲート装飾花壇、日本庭園風の水辺の広場、浮き花壇等への 50 万球のチューリップの展示
- カ フジ（棚・庭木仕立て盆栽鉢 100 株の展示と育成管理、既存フジ棚の拡張と「虹のフジのトンネル」の充実
- キ 西洋シャクナゲ 500 本、ヘメロカリス 500 本の植栽管理
（ゴールドデンウィーク以降も絶え間なく花のリレーが続く園の実現をめざして）
- ク 熱帯スイレンの展示（温室内常設）、熱帯スイレン 30 鉢展示（テラス池）
- ケ 夏花壇としてヒマワリ約 10,000 本の植栽展示
- コ ヒガンバナ類（ヒガンバナ、シロバナマンジュシャゲ、ショウキズイセン）6 万本の展示

- サ 百種接分菊（1基）、接分菊ミニ（4基）、トーテムポール菊（200鉢）、世界の菊（200鉢）の展示
- シ モザイカルチャー作品（ほほえみのハーモニー等）の装飾とその維持管理
- ス ウェルカムガーデン、スマイルガーデン等の花壇展示による癒し空間の創出
- セ 球根ベゴニア、ランなどの展示と育成管理
- ソ 植物園では全国で初めて開花させたヨルダン国花「ブラックアイリス」の育成管理
- タ ブラジル国花イペの追加植栽等、桜の開花後も絶え間なく花の見頃が続く園の実現

(5) 観賞、散策及び研修用の施設の運営管理

- ア 夜間開園の実施
- イ 園路舗装修繕等ユニバーサルデザインに対応した改修整備の実施
- ウ 園内移動車両（フラワートレイン）3編成（53人乗り/56人乗り/57人乗り。各々車椅子2台収容可）稼働による来場者サービスの充実と入園者利便性の確保
- エ 作業研修、体験学習の場となる育苗・栽培圃場の育成管理と施設維持
- オ 大温室クリスタルパレス内ガーデンシアター年間展示として下記の企画展を開催
 - (ア) 春 「おとぎの国へようこそ」（平成30年春）
 - (イ) 夏 「サマーバケーション」
 - (ウ) 秋 「フラガーデン」「ゆかいなパーティーにようこそ」「秋空のもとで」
 - (エ) 冬 「クリスマスタウン」「フラワー・バレンタイン」「春の足音」
 - (オ) 春 「やさしい時に包まれて」（31年春）
- カ 「花みどり館」での体験学習機能の強化・充実（各種講演会、教室の開催）
- キ 大温室バリガーデン内熱帯植物（サボテン類、珍しい草花）の育成管理
- ク クリスタルパレス特設展示として植物園で初の絶滅危惧種「ヒカリゴケ」の常設展示
- ケ 新規誘客事業「フジライトアップ」の試験開催（H30.4.28）。来年以降の本格開催に向け、幻想的な雰囲気と美しさに満ちた仕掛けの提案と集客効果の演出
- コ 園の親しみやすさと憩いの場機能を高めるため、マスコットキャラクター「ふらまる」を活用した広報活動とイメージ戦略の強化

(6) 館山寺総合公園の指定管理業務

- ア 花の図書館として名高い「フラワーパーク」と隣接する「浜松市動物園」をあわせた、日本の都市公園100選でもある「館山寺総合公園」の適正かつ効率的な管理運営
- イ 動物園との合同イベントの実施による誘客の取り組み（動物のコースター作り体験等）

(7) その他目的を達成するために必要な事業

- ア 駐車場及び遊具施設の管理運営
- イ 各種行事の実施（別記）及び広報活動の推進
 - (ア) イベントポスターの作成（花フェスタ2019Ⅰ期500枚、Ⅱ期500枚、イルミネーション1,300枚）
 - (イ) イベントチラシの作成（花フェスタ2019Ⅰ期80,000枚、Ⅱ期20,000枚、夏休み

70,000 枚、秋 21,000 枚、イルミ 79,000 枚、早春 9,000 枚)

(ウ) 新聞、テレビ等報道機関の取材 313 件

(エ) 夏休みイベントとして「水遊び広場」「不思議な植物展」「カブトムシカガバトル」「ザリガニを釣ってみよう」を開催

ウ 関係機関や地域観光施設との連携

(ア) 館山寺温泉観光協会、浜名湖観光圏内宿泊施設及び周辺観光施設等の広域連携で展開する「浜名湖花フェスタ」の定期開催と花のまちづくりの推進

(イ) 浜松駅コンコースや駅地下道でのポスター掲示による情報発信の実施

(ウ) グリーンツーリズム、ホテル等地元観光関連団体と連携した宣伝活動の強化

(エ) 「動物園裏側探検」等共同イベント開催による浜松市動物園との連携強化

(オ) 電動移動車両、車椅子、ベビーカー等の適切な維持管理による公園福祉機能の向上

(カ) フラダンスの一大イベント「The hula フェスティバル」の事業定着化と文化芸術活動の普及推進

(キ) 浜松磐田信金、天竜浜名湖鉄道と連携し、天浜線沿線に花を植え育てる取り組み

「花のリレープロジェクト」参画による地域の魅力向上と観光活性化の推進

3 事業の内容（収益目的事業）

(1) 売店・レストラン・遊具・自動販売機売上等に関する事業

ア 売店事業において、地元農家との連携・地場産花き類販売等による地産地消と市民交流の推進

イ ショップ・レストランレジでのクレジットカード機能運用による安定的な収益基盤確立による営業体制の強化

ウ 直営レストランの商品構成の随時見直しと新メニュー提供による便益機能の向上

(昨年度に引き続き花みどり館オープンカフェ「ハミング」を夏季に「かき氷等を取り扱う涼の採れる店」として営業し、入園者ニーズに柔軟に対応した店舗に変更するなど、営業展開を弾力化)

エ こども広場における観覧車、各種遊具の安全かつ適切な運行

(快適なアメニティゾーン構築のための整備・充実)

3 フラワーパークイベント等事業報告

※◎印大型イベント、○印新規・臨時行事

月	行事名	期間等	月	行事名	期間等
4月	◎世界一美しい「桜とチューリップの庭園」	3/下旬～4/中旬	7月	○ハナショウブの魅力と育て方教室	8日(日) (参加 12人)
	◎夜間開園「夜桜ライトアップ」	3/23日(金)～1日(日)		アサガオ展	21日(土)～22日(日)
	サクラソウ展	14日(土)～22日(日)		◎夏休み自然と遊ぼう こども水遊び広場	21日(土)～9/2日(日)
	さくらそう講座	15日(日) (参加 15人)		◎夏休み自然と遊ぼう 食虫植物を観察しよう!	28日(土)・29日(日) (参加 146人)
	アサガオ作り方教室①<全2回>	22日(日) (参加 14人)		◎夏休み自然と遊ぼう カブトムシ・クワガタワールド	28日(土)～9/2日(日)
	○バイオゴールド流土づくり講座	28日(土) (参加 10人)		◎夏休み自然と遊ぼう 不思議な植物展	28日(土)～9/2日(日)
	花のウォーキング<全24回>	7日(土)、21日(土) (参加 55人)		花のウォーキング<全24回>	14日(土)、28日(土) (参加 9人)
5月	和風盆栽展	3日(木)～5日(土)	8月	◎夏休み自然と遊ぼう ザリガニを釣ってみよう	19日(日)
	こどもの日小・中学生無料入園	5日(土)		○植物園の裏側を知ろう	4日(土) (参加 9人)
	サツキ展	20日(日)～27日(日)		○絵本原画展	4日(土)～12日(日)
	菊作り入門教室	21日(月) (参加 9人)		○竹細工教室	5日(日) (参加 12人)
	○観葉植物の育て方	26日(土) (参加 11人)		夏休み体験手作りフェア	16日(木)～22日(水)
	花のウォーキング<全24回>	12日(土)、26日(土) (参加 49人)		○熱帯植物を観察しよう	18日(土) (参加 16人)
	○自然観察会	2日(土) (参加 20人)		名前入りヒョウタンプレゼント	25日(土) (参加 68人)
6月	○初心者向けバラ園芸教室	3日(日) (参加 13人)	9月	○親子で“体験・学習” 「未来×エネルギープロジェクト」	28日(火) (参加 15人)
	琴演奏	9日(土)		花のウォーキング<全24回>	11日(土)、25日(土) (参加 11人)
	手筒花火	9日(土)		遠州の自然展	7日(金)～30日(日)
	ミツバチ教室	10日(日) (参加 43人)		○多肉植物の寄せ植え教室	8日(土) (参加 20人)
	○アジサイの剪定と育て方教室	24日(日) (参加 12人)		○植物の種類に応じた土づくり	15日(土) (参加 7人)
	アサガオ作り方教室②<全2回>	24日(日) (参加 12人)		第48回 金魚品評大会	16日(日)
	花・モデル撮影教室	24日(日) (参加 48人)		○花のかんむりを作ろう	22日(土) (参加 28人)
	モデルミニ撮影会	24日(日)		花のウォーキング<全24回>	8日(土)、22日(土) (参加 23人)
	花のウォーキング<全24回>	9日(土)、23日(土) (参加 24人)			

月	行事名	期間等	月	行事名	期間等
10月	ザ・フラ・フェスティバル ～The hula フェスティバル～	6日(土)～8日(月)	12月	クリスマス・リース教室	16日(日) (参加 21人)
	アートフラワー展	13日(土)～21日(日)		○あなたを思いやる ハートフルナイト☆	25日(火)
	○園芸職員による園芸ガイド	20日(土) (参加 18人)		花のウォーキング<全24回>	8日(土)、22日(土) (参加 7人)
	秋の錦鯉品評大会	21日(日)		◎早春チューリップの展示	1日(火)～2/上旬
	○親子ネイチャークラフト	27日(土) (参加 7人)		2019新春お年玉企画!	1日(火)～3日(木)
	まちをまもるクルマフェア	27日(土)		七草粥無料接待	7日(月)
	ふらまるをさがせ!	27日(土)		○親子でシイタケの菌打ち体験	13日(日) (参加 39人)
	花のウォーキング<全24回>	13日(土)、27日(土) (参加 39人)		○フォークトピアLIVE	13日(日)
11月	第67回浜松菊花大会	2日(金)～23日(金)	平成31年1月	○初心者向けバラ園芸教室	19日(土) (参加 8人)
	百種接分菊展示	上旬～下旬		花のウォーキング<全24回>	12日(土)、26日(土) (参加 39人)
	老鴉柿展	3日(土)～11日(日)		◎梅&早咲きの桜	中旬～3/上旬
	○トレッキングコースを歩いて植物を楽しもう	4日(日) (参加 13人)		甘酒無料接待	10日(日)～3/10日(日)の日曜日
	○自動車趣味人の集い2018	11日(日)		○フラワーバレンタインアレンジ教室	3日(日) (参加 29人)
	消防119ふれあいフェア	11日(日)		おひなさま展とハンドメイドフェア	9日(土)～17日(日)
	和風盆栽展	16日(金)～18日(日)		○フォークトピアLIVE	10日(日)
	◎夜間開園 フラワー・イルミネーション	23日(金)～1/6日(日)		○庭木の手入れ	24日(日) (参加 10人)
	イルミネーション撮影教室	25日(日) (参加 13人)		花のウォーキング<全24回>	9日(土)、23日(土) (参加 35人)
	花のウォーキング<全24回>	10日(土)、24日(土) (参加 23人)		体験!ノルディックウォーク	3日(日) (雨天の為中止)
12月	ナイトコンサート	1日(土)～24日(月) の土・日・祝	2月	親子で干支コースターを作ろう!	2日(土) (参加 34人)
	○花木の育て方教室	1日(土) (参加 3人)		春の花をより美しく撮る撮影教室	3日(日) (参加 23人)
	塚本こなみの園芸教室 「フジの盆栽の育て方」	8日(土) (参加 13人)		春の錦鯉品評大会	17日(日)
	クリスマス・アレンジ教室	9日(日) (参加 8人)		◎世界一美しい 「桜とチューリップの庭園」	3/下旬～4/中旬
	○ミニ門松作り教室	9日(日) (参加 13人)		◎夜間開園「夜桜ライトアップ」	3/29日(金)～4/7日(日)
	○自動運転車体験試乗会	14日(金)～16日(日)		花のウォーキング<全24回>	9日(土)、23日(土) (参加 39人)
					3月

【浜名湖花フェスタ2018 園芸教室・講演会等開催実績】

- 4月 1日(日) 「佐原園長の園内うんちく散歩」
- 4月 15日(日) 「佐原園長の園内うんちく散歩」
- 4月 21日(土)～5月 6日(日) 「コンテナガーデンコンテスト」
- 4月 29日(日) 「塚本理事長のフジの育て方教室」
- 5月 1日(火)～5月 6日(日) 「親子ミニガーデンコンテスト」
- 5月 5日(土) 「親子寄せ植え教室」
- 5月 19日(土) 「佐原園長の園内うんちく散歩」
- 6月 2日(土) 「佐原園長の園内うんちく散歩」

4 議決事項

(1) 理事会議決事項

議決事項	議決年月日	件名
第1号議案	平成30.6.4	平成29年度事業報告及び会計報告の承認について(別冊)
第2号議案	〃	平成30年度定時評議員会招集及び提出議案について
報第1号	平成30.9.25	直近の事業状況について(報告)
報第2号	〃	「浜名湖花フェスタ2018」事業について(報告)
報第3号	平成30.12.21	直近の事業状況について(報告)
第3号議案	〃	公益財団法人浜松市花みどり振興財団職員給与規程の一部改正について
第4号議案	〃	公益財団法人浜松市花みどり振興財団職員退職手当支給規程の一部改正について
第5号議案	平成31.3.15	公益財団法人浜松市花みどり振興財団職員給与規程の一部改正について
第6号議案	〃	2019年度公益財団法人浜松市花みどり振興財団事業計画について
第7号議案	〃	2019年度公益財団法人浜松市花みどり振興財団収支予算について
報第4号	〃	直近の事業状況について(報告)

(2) 評議員会議決事項

議決事項	議決年月日	件名
第1号議案	平成30.6.21	平成29年度事業報告及び会計報告の承認について(別冊)
第2号議案	〃	評議員の選任について

5 役員に関する事項

(1) 理事・監事

平成31年 3月31日現在

役員名等	氏 名	備 考
理事長	塚本こなみ	樹木医
副理事長	金原 貴	館山寺温泉観光協会 会長
常務理事	山本 泉	学識経験者（浜松市OB）
理事	山内 啓司	学識経験者（前スズキ(株)顧問）
理事	竹内 恵子	税理士
理事	今田 欽也	学識経験者（前浜松市議会議員）
理事	後藤 康志	(公財)浜松市文化振興財団 文化事業課長
理事	鈴木 康久	(公財)浜松・浜名湖ツuris`ムビ`ェロー 誘客推進事業部長
理事	藤野 正己	PCガーベラ部会
理事	鈴木 ふさ	行政書士
理事	野中 廣吉	平松観光アグリス浜名湖
監事	小杉 和弘	浜松商工会議所 専務理事
監事	守田 泰男	遠州信用金庫理事長

(2) 評議員

平成31年 3月31日現在

区分	氏 名	備 考
評議員	佐藤 英年	浜名商工会 庄内支所
評議員	大石 好孝	浜松市こども会連合会 会長
評議員	荒巻太枝子	浜松市私立幼稚園協会 会長
評議員	長田 繁喜	浜松市副市長
評議員	花井 和徳	浜松市教育長
評議員	喜聞 広典	(株)中日新聞社取締役 東海本社代表
評議員	石田 伸吾	(株)静岡新聞社常務取締役 浜松総局長
評議員	鈴木 和俊	JAとぴあ浜松 経営管理委員会 会長
評議員	中村 幸浩	浜松旅行業協議会（遠鉄トラベル取締役 営業本部長）

6 職員に関する事項

区分	平成30年3月31日現在				平成31年3月31日現在				備考	
	人数	事務員	技術員	嘱託等	人数	事務員	技術員	嘱託		
事務局長	(1)	-	-	-	(1)	-	-	-	常務理事兼務	
フラワーパーク	フラワーパーク園長	-	-	-	-	-	-	-	H28.4～顧問	
	総務課長	1	1	-	-	1	1	-		
	企画広報室長	1	-	-	1	-	-	-		
	総務グループ長	1	1	-	-	1	1	-		
	総務グループ	8	5	-	3	7	5	-	2	
	動物園施設管理担当	2	2	-	-	2	2	-	-	
	パーク管理課長	1	-	1	-	1	-	1	-	
	同補佐	1	-	1	-	1	-	1	-	
	園芸第1グループ長	(1)	-	-	-	(1)	-	-	-	課長兼務
	園芸第2グループ長	(1)	-	-	-	(1)	-	-	-	課長補佐兼務
	園芸第1グループ	7	-	7	-	7	-	7	-	
	園芸第2グループ	4	-	3	1	5	-	4	1	
フラワーパーク計	26	9	12	5	25	9	13	3		
【内訳】										
事務員	9	9	-	-	9	9	-	-		
技術員	12	-	12	-	13	-	13	-		
嘱託職員(常勤)	5	-	-	5	3	-	-	3		
財団合計	26	9	12	5	25	9	13	3		
出納長	(1)	-	-	-	(1)	-	-	-	事務局長兼務	
出納員	(1)	-	-	-	(1)	-	-	-	総務課長兼務	

※ () は兼務。

B 事業会計決算

1 貸借対照表

貸借対照表

平成31年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	31,970,495	37,967,932	△5,997,437
預金	188,102,478	221,610,460	△33,507,982
貯蔵品	9,207,064	9,864,647	△657,583
未収金	27,593,404	10,750,600	16,842,804
前払費用	85,230	83,590	1,640
流動資産合計	256,958,671	280,277,229	△23,318,558
2 固定資産			
(1)基本財産			
預金	55,000,000	55,000,000	-
基本財産合計	55,000,000	55,000,000	-
(2)特定資産			
退職給付引当資産	122,828,000	116,271,000	6,557,000
特定資産合計	122,828,000	116,271,000	6,557,000
(3)その他固定資産			
土地	14,200,765	14,200,765	-
構築物	5	10,506	△10,501
車輛	7	7	-
器具備品	10	11	△1
ソフトウェア	3	3	-
リース資産	1,192,074	1,395,306	△203,232
出資金	10,000	10,000	-
保証金	-	100,000	△100,000
その他固定資産合計	15,402,864	15,716,598	△313,734
固定資産合計	193,230,864	186,987,598	6,243,266
資産合計	450,189,535	467,264,827	△17,075,292

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
II 負債の部			
1 流動負債			
買掛金	13,006,660	19,664,929	△6,658,269
未払金	32,718,744	25,815,906	6,902,838
未払費用	14,763,748	15,252,990	△489,242
未払法人税等	71,000	71,000	-
未払消費税	2,415,000	7,482,800	△5,067,800
預り金	1,350,193	3,918,720	△2,568,527
リース債務	519,432	456,192	63,240
賞与引当金	7,526,000	7,623,000	△97,000
流動負債合計	72,370,777	80,285,537	△7,914,760
2 固定負債			
退職給付引当金	122,828,000	116,271,000	6,557,000
リース債務	672,642	939,114	△266,472
固定負債合計	123,500,642	117,210,114	6,290,528
負債合計	195,871,419	197,495,651	△1,624,232
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
地方公共団体補助金	5,000,000	5,000,000	-
寄付金	50,000,000	50,000,000	-
(うち基本財産への充当額)	(55,000,000)	(55,000,000)	-
指定正味財産合計	55,000,000	55,000,000	-
2 一般正味財産			
一般正味財産	199,318,116	214,769,176	△15,451,060
正味財産合計	254,318,116	269,769,176	△15,451,060
負債及び正味財産合計	450,189,535	467,264,827	△17,075,292

2 正味財産増減計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
ア 基本財産運用益	5,500	5,500	0
イ 特定資産運用益	11,644	17,014	△ 5,370
ウ 事業収益	386,508,470	460,264,335	△ 73,755,865
入園料収益	177,146,529	225,937,252	△ 48,790,723
レストラン売上収益	45,503,589	49,242,415	△ 3,738,826
売店売上収益	85,878,812	101,486,346	△ 15,607,534
駐車場使用料収益	42,681,500	44,830,900	△ 2,149,400
園内移動車両使用料収益	10,037,800	11,578,700	△ 1,540,900
施設使用料収益	14,064,708	14,927,463	△ 862,755
その他使用料収益	6,772,656	6,396,690	375,966
受取雑収入	912,921	1,743,830	△ 830,909
受取謝礼金	2,849,533	2,632,061	217,472
受取イベント参加収入	660,422	1,488,678	△ 828,256
エ 受取受託料	27,822,204	793,260	27,028,944
オ 受取指定管理料	111,742,555	111,603,085	139,470
カ 受取寄附金	10,000,000	0	10,000,000
キ 雑収益	7,234	7,451	△ 217
受取利息	7,234	7,451	△ 217
経常収益計	536,097,607	572,690,645	△ 36,593,038
(2) 経常費用			
ア 事業費	512,090,120	521,948,711	△ 9,858,591
報酬	5,725,200	5,725,200	0
給料	80,339,770	80,992,627	△ 652,857
職員手当	29,206,569	30,989,816	△ 1,783,247
法定福利費	20,259,430	20,310,566	△ 51,136
退職給付費用	6,658,529	8,903,239	△ 2,244,710
賃金	100,784,137	100,463,116	321,021
旅費交通費	161,090	178,310	△ 17,220
報償費	8,948,402	10,396,254	△ 1,447,852
燃料費	10,368,443	10,472,163	△ 103,720
光熱水費	22,453,626	21,599,562	854,064
備用品費	16,747,060	14,051,529	2,695,531
印刷製本費	1,655,956	1,560,569	95,387
通信運搬費	929,105	1,053,087	△ 123,982
広告宣伝費	13,222,478	15,656,361	△ 2,433,883
手数料	9,676,563	9,629,071	47,492
交際費	12,000	0	12,000
会議費	910,362	570,938	339,424
厚生福利費	6,914	7,020	△ 106
負担金	4,000	4,000	0
公課費	260,925	179,380	81,545
被服費	603,036	546,426	56,610
賃借料	1,451,430	1,897,425	△ 445,995
雑費	26,821	31,266	△ 4,445
委託費	36,553,495	33,222,166	3,331,329

科 目	当年度	前年度	増減
修繕費	8,678,405	13,447,801	△ 4,769,396
保険料	1,311,950	1,406,153	△ 94,203
原材料費	3,718,248	3,343,824	374,424
肥料農薬費	3,303,549	3,237,908	65,641
種苗費	44,675,539	28,828,312	15,847,227
売店材料費	60,193,533	75,791,378	△ 15,597,845
食材費	22,227,201	24,795,826	△ 2,568,625
棚卸減耗費	486,399	168,892	317,507
減価償却費	529,955	2,488,526	△ 1,958,571
イ 管理費	39,458,544	42,139,173	△ 2,680,629
報酬	5,775,200	5,781,200	△ 6,000
給料	5,811,450	5,628,700	182,750
職員手当	2,401,523	2,172,296	229,227
法定福利費	2,266,706	2,204,909	61,797
厚生福利費	277,775	211,464	66,311
通信運搬費	29,000	33,000	△ 4,000
委託費	1,620,000	1,620,000	0
手数料	331,015	324,368	6,647
公課費	71,000	71,000	0
負担金	836,795	841,100	△ 4,305
備用品費	500,880	420,936	79,944
消費税	19,537,200	22,830,200	△ 3,293,000
経常費用計	551,548,664	564,087,884	△ 12,539,220
当期経常増減額	△ 15,451,057	8,602,761	△ 24,053,818
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
前期損益修正益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	3	0	3
経常外費用計	3	0	3
当期経常外増減額	△ 3	0	△ 3
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 15,451,060	8,602,761	△ 24,053,821
一般正味財産期首残高	214,769,176	206,166,415	8,602,761
一般正味財産期末残高	199,318,116	214,769,176	△ 15,451,060
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	55,000,000	55,000,000	0
指定正味財産期末残高	55,000,000	55,000,000	0
III 正味財産期末残高	254,318,116	269,769,176	△ 15,451,060

3 正味財産増減計算書内訳表

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的会計	収益事業会計	法人会計	内部取引等消去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
ア 基本財産運用益	5,500	0	0	0	5,500
イ 特定資産運用益	8,151	3,493	0	0	11,644
ウ 事業収益	234,929,219	151,735,681	0	△ 156,430	386,508,470
入園料収益	177,146,529	0	0	0	177,146,529
レストラン売上収益	0	45,660,019	0	△ 156,430	45,503,589
売店売上収益	0	85,878,812	0	0	85,878,812
駐車場使用料収益	42,681,500	0	0	0	42,681,500
園内移動車両使用料収益	10,037,800	0	0	0	10,037,800
施設使用料収益	0	14,064,708	0	0	14,064,708
その他使用料収益	682,914	6,089,742	0	0	6,772,656
受取雑収入	870,521	42,400	0	0	912,921
受取謝礼金	2,849,533	0	0	0	2,849,533
受取イベント参加収入	660,422	0	0	0	660,422
エ 受取受託料	27,822,204	0	0	0	27,822,204
オ 受取指定管理料	86,034,695	5,200,400	20,507,460	0	111,742,555
カ 受取寄附金	10,000,000	0	0	0	10,000,000
キ 雑収益	7,234	0	0	0	7,234
受取利息	7,234	0	0	0	7,234
経常収益計	358,807,003	156,939,574	20,507,460	△ 156,430	536,097,607
(2) 経常費用					
ア 事業費	369,528,362	142,718,188	0	△ 156,430	512,090,120
報酬	5,725,200	0	0	0	5,725,200
給料	74,441,470	5,898,300	0	0	80,339,770
職員手当	27,350,374	1,856,195	0	0	29,206,569
法定福利費	16,832,091	3,427,339	0	0	20,259,430
退職給付費用	4,660,529	1,998,000	0	0	6,658,529
賃金	75,194,576	25,589,561	0	0	100,784,137
旅費交通費	161,090	0	0	0	161,090
報償費	3,660,874	5,287,528	0	0	8,948,402
燃料費	10,368,443	0	0	0	10,368,443
光熱水費	17,107,382	5,346,244	0	0	22,453,626
備用品費	14,650,720	2,096,340	0	0	16,747,060
印刷製本費	1,596,556	59,400	0	0	1,655,956
通信運搬費	929,105	0	0	0	929,105
広告宣伝費	13,377,908	1,000	0	△ 156,430	13,222,478
手数料	6,096,429	3,580,134	0	0	9,676,563
交際費	12,000	0	0	0	12,000
会議費	910,362	0	0	0	910,362
厚生福利費	6,914	0	0	0	6,914
負担金	0	4,000	0	0	4,000
公課費	260,925	0	0	0	260,925
被服費	600,276	2,760	0	0	603,036
賃借料	665,838	785,592	0	0	1,451,430
雑費	26,821	0	0	0	26,821
委託費	33,276,095	3,277,400	0	0	36,553,495

科 目	公益目的会計	収益事業会計	法人会計	内部取引等消去	合 計
修繕費	8,477,683	200,722	0	0	8,678,405
保険料	1,303,450	8,500	0	0	1,311,950
原材料費	3,718,248	0	0	0	3,718,248
肥料農薬費	3,303,549	0	0	0	3,303,549
種苗費	44,675,539	0	0	0	44,675,539
売店材料費	0	60,193,533	0	0	60,193,533
食材費	0	22,227,201	0	0	22,227,201
棚卸減耗費	0	486,399	0	0	486,399
減価償却費	137,915	392,040	0	0	529,955
イ 管理費	11,917,692	7,033,392	20,507,460	0	39,458,544
報酬	0	0	5,775,200	0	5,775,200
給料	0	0	5,811,450	0	5,811,450
職員手当	0	0	2,401,523	0	2,401,523
法定福利費	0	0	2,266,706	0	2,266,706
厚生福利費	0	0	277,775	0	277,775
通信運搬費	0	0	29,000	0	29,000
委託費	0	0	1,620,000	0	1,620,000
手数料	0	0	331,015	0	331,015
公課費	0	0	71,000	0	71,000
負担金	0	0	836,795	0	836,795
備用品費	0	0	500,880	0	500,880
消費税	11,917,692	7,033,392	586,116	0	19,537,200
経常費用計	381,446,054	149,751,580	20,507,460	△ 156,430	551,548,664
当期経常増減額	△ 22,639,051	7,187,994	0	0	△ 15,451,057
2 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
前期損益修正益	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
固定資産除却損	3	0	0	0	3
経常外費用計	3	0	0	0	3
当期経常外増減額	△ 3	0	0	0	△ 3
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 22,639,054	7,187,994	0	0	△ 15,451,060
他会計振替額	704,000	△ 704,000	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 21,935,054	6,483,994	0	0	△ 15,451,060
一般正味財産期首残高	93,652,814	121,116,362	0	0	214,769,176
一般正味財産期末残高	71,717,760	127,600,356	0	0	199,318,116
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	55,000,000	0	0	0	55,000,000
指定正味財産期末残高	55,000,000	0	0	0	55,000,000
III 正味財産期末残高	126,717,760	127,600,356	0	0	254,318,116

4 財務諸表に対する注記

(1) 重要な会計方針

ア 棚卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品は、先入先出法による原価法による。

イ 固定資産の減価償却の方法

(構築物・車輛・器具備品・ソフトウェア)

定額法によっている。法人税法に定める耐用年数を使用している。

(リース資産)

リース期間を耐用年数とし、残存価格をゼロとする定額法によっている。

- ・冷凍庫 1 台・・・レストラン食材を冷凍保管するための機械装置である。
- ・複合機 2 台・・・事務所、パーク棟で利用する FAX 機能付き機械装置である。

ウ 引当金の計上基準

退職給付引当金

当期末における退職給付の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

賞与引当金

翌年度に職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち、当期に帰属する額（12月から3月の4ヶ月分）を、計上している。

エ 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

(2) 会計方針の変更

該当なし

(3) 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	55,000,000	0	0	55,000,000
小 計	55,000,000	0	0	55,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	116,271,000	6,658,529	101,529	122,828,000
小 計	116,271,000	6,658,529	101,529	122,828,000
合 計	171,271,000	6,658,529	101,529	177,828,000

(4) 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	55,000,000	(55,000,000)	-	-
小 計	55,000,000	(55,000,000)	-	-
特定資産				
退職給付引当資産	122,828,000	-	-	(122,828,000)
小 計	122,828,000	-	-	(122,828,000)
合 計	177,828,000	(55,000,000)	-	(122,828,000)

(5) 担保に供している資産

該当なし

(6) 保証債務等の偶発債務

ア 係争中の案件

当財団他1名は平成27年9月4日に園内で発生したクレーン車輻転倒事故について、クレーン所有者であり、原告の有限会社明和重機から修繕料及び支払完了時までの年5分の費用等の支払いを求められた。この訴えに対し裁判で争ってきたが、平成30年11月12日、静岡地方裁判所から

①被告である当財団と受注会社渥美造園に対し金470万2132円と年5分の割合を原告に支払うよう、

②原告及び被告渥美に対し金30万5,704円と年5分の割合を当財団に支払うよう、

③訴訟費用は原告、被告当財団、被告渥美で3分するよう、それぞれ命じる判決があった。これに対し当財団は判決を不服として平成30年11月22日付で東京高等裁判所に控訴した。引き続き本案件において当財団の正当性を主張していく考えである。

(7) 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
土地	14,200,765	0	14,200,765
構築物	7,350,000	7,349,995	5
車輛	3,522,766	3,522,759	7
器具備品	11,846,756	11,846,746	10
ソフトウェア	3,426,150	3,426,147	3
リース資産	2,205,144	1,013,070	1,192,074
出資金	10,000	0	10,000
合 計	42,561,581	27,158,717	15,402,864

(8) 補助金及び寄付金の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金及び寄付金の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次のとおりである。

(単位：円)

補助金及び寄付金の名称及び交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金 浜松市	5,000,000	0	0	5,000,000	指定正味財産
寄付金 浜松市	50,000,000	0	0	50,000,000	指定正味財産
合 計	55,000,000	0	0	55,000,000	

(9) 退職給付関係

ア 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として、退職一時金制度を設けている。退職一時金制度は簡便法により、退職給付引当金及び退職給付費用を計算している。

イ 確定給付制度

① 簡便法を適用した制度の退職給付引当金の期首残高と期末残高の調整表

退職給付引当金の期首残高	116,271,000 円
退職給付費用	6,658,529 円
<u>退職給付の支払額</u>	<u>101,529 円</u>
退職給付引当金の期末残高	122,828,000 円

② 退職給付債務の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金の調整表

<u>非積立型制度の退職給付債務</u>	<u>122,828,000 円</u>
貸借対照表に計上された負債	122,828,000 円
<u>退職給付引当金</u>	<u>122,828,000 円</u>
貸借対照表に計上された負債	122,828,000 円

③ 退職給付費用

簡便法で計算した退職給付費用	6,658,529 円
----------------	-------------

5 附属明細書

(1) 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表の注記に記載しているため、内容の記載を省略する。

(2) 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	7,623,000	7,526,000	7,623,000	0	7,526,000
退職給付引当金	116,271,000	6,658,529	101,529	0	122,828,000

6 財産目録

平成31年3月31日現在

(単位：円)

科 目	場所・物量等	使用目的等	金 額
1 流動資産			
現金		運転資金として	31,970,495
預金		運転資金として	
普通・定期預金	静岡銀行舘山寺支店等		188,102,478
貯蔵品	売店材料棚卸資産等	収益事業に係る商品	9,207,064
未収金	観光券等入園料等	公益事業に係る未収入金	27,593,404
前払費用	翌年度施設賠償保険等	公益事業に係る費用	85,230
流動資産合計			256,958,671
2 固定資産			
(1)基本財産			
預金		共用財産であり、運用益を公益事業・運営費財源として使用	
定期預金	静岡銀行浜松営業部		5,000,000
"	静岡銀行舘山寺支店		50,000,000
		<基本財産計>	55,000,000
(2)特定資産			
退職給付特定資産			
定期預金	遠州信用金庫舘山寺支店	退職金支払に備えた資産	50,000,000
定期預金	静岡銀行舘山寺支店	として使用	35,688,000
定期預金	浜松磐田信用金庫湖東支店		37,140,000
		<特定資産計>	122,828,000
(3)その他固定資産			
土地	臨時駐車場用地	共用財産であり、公益	14,200,765
構築物	パイプトンネル等	事業の用に供している。	5
車輛	作業車軽トラック等		7
器具備品	管理機、サーバー等		10
ソフトウェア	給与、就業、償却システム	共用財産、公益事業用	3
リース資産	冷凍庫・複合機等	共用財産、公益・収益事業用	1,192,074
出資金	遠州信用金庫舘山寺支店	共用財産、公益事業用	10,000
		<その他固定資産計>	15,402,864
固定資産合計			193,230,864
資産合計			450,189,535

科 目	場所・物量等	使用目的等	金 額
1 流動負債			
買掛金	売店商品、食材仕入代	収益事業に係る買掛金	13,006,660
未払金	物品購入代	公益事業に係る未払金	32,718,744
未払費用	3月分職員手当、賃金、社会保険料等	職員3月分手当等未払費用	14,763,748
未払法人税等	法人税	事業に係る未払法人税	71,000
未払消費税	消費税	事業に係る未払消費税	2,415,000
預り金	社会保険料、協賛金等	職員の社保料の預り金	1,350,193
リース債務	冷凍庫・複合機等	公益・収益事業に供する機器債務	519,432
賞与引当金	6月支払額の当年度分	職員の賞与の引当金	7,526,000
流動負債合計			72,370,777
2 固定負債			
退職給付引当金	平成31年3月末現在の要支給額	職員の退職給付の引当金	122,828,000
リース債務	冷凍庫・複合機等	公益・収益事業に供する機器債務	672,642
固定負債合計			123,500,642
負債合計			195,871,419
正味財産			254,318,116